

# 各区だより

## 港区

### 活動の回復をめざして

なごやかクラブ港では、令和元年度後半から休止していた行事や活動を、4年度当初より規模は小さくとも徐々に回復させていくこととしました。

まず6月15日に85名がバス3台に分乗して渥美半島方面へ日帰りの会長等研修会を実施しました。田原市博物館で展示されている渡辺華山の生い立ちや人となりを偲び、そのあと豊川稲荷へ参拝しました。

6月29日にポッチャ体験会を各学区参加の48名で楽しみ、10月14日に稲永公園野球場でゴルフ大会を、参加選手を通常の半分以下の162名で競い合いました。

11月8日の演芸大会は港文化小劇場で、声出し禁止で日舞2組、民謡踊り3組、歌謡舞踊、大正琴、フラダンス、そして銭太鼓と9チーム54名の熱演で華やかな舞台に100余名の観衆は大満足でした。



第51回 演芸大会  
港区老人クラブ連合会(なごやかクラブ連)



そして4年度最後のイベント「趣味の作品展」を2月20日から22日にかけて開催しました。3年の間隔が空いての開催だったので出品者や出品数が増え、ほぼ集まるのが気をもみましたが、各会長皆さんの声掛けと出品者の掘り起こしに早くから奔走していただき、また会員皆様の熱意によって15学区から210名の力作499点が寄せられ、作品数は

心配をよそに前回の78%まで回復でき、約330人の皆さんに作品を披露することができました。今回は着物や帯をバッグや洋服に仕立て直された素敵な大型作品が数多くみられました。

4年度唯一活動ができなかったのは、皆さん大好評の港文化小劇場での「楽しく唄おう会」でした。5年度には新型コロナウイルスも終息してくれて、皆さん自慢の十八番が拝聴できることを楽しみにしています。

(寺野 肇)

## 南区

### みなみ

### 顔の見える関係づくり

ずに実施しました。

また、豊田学区連絡協議会の一員としての役割も大切にしており、巡回パトロールなどと一緒に活動しています。

この夏は令和元年度を最後に休止にしていた夏まつりを7月29日～30日、協議会で再開し、クラブとして模擬店(金魚すくい)を出店し子どもたちと大いに交流しました。(なお、金魚を購入してから、お祭りまでの2～3日間の金魚の健康管理は大変でした。)

これからも学区内でクラブの知名度を上げ、より多くの方に入会していただき、社会貢献や楽しい活動を通して顔の見える関係をつくり、暮らしの豊かさや安心感が得られるように努めていきます。

(柴田 輝雄)



豊田学区老人クラブ連合会は単一クラブ数は5つ。会員数は152名(4月1日現在)です。学区老人クラブは各種スポーツ大会・研修旅行等のイベントを実施していますが、その中でも力を入れているのは毎月第4水曜日に豊田コミセンで10年以上続けている「健康会」です。きっかけは学区からの声掛けで始まり、その後クラブで継続運営しています。

会は音楽・体操・健康講話など健康長寿を目的とした多方向の内容となっており、毎月20～30人が楽しんで参加しています。この会は会員勧誘の場でもありますが、欠席の理由を確認して、互いを気遣う場でもあります。

「コロナ禍」の時もこの事業を活動の「幹」として位置づけ、感染防止策を徹底し毎月欠かさ

